

平成28年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会 会議録

日 時：平成28年5月14日（土）午前10時開会、正午閉会

場 所：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 岡村委員、瀬川委員、高橋委員、伊藤諒子委員、浅沼委員、伊藤賢治委員、
小原委員、岩田委員、多田委員

欠席委員 榊委員

説明者 久保田生涯学習部長、栗原館長、藤井副館長

会議開催前に、久保田生涯学習部長から各委員に委嘱状を交付した。その後、出席者が自己紹介した。

1 開 会

2 あいさつ（概要）

栗原館長

今年は、宮沢賢治生誕120年記念国際研究大会が開催されるが、大きな実りを得たい。

7年後には、没後100年となる。

久保田生涯学習部長

宮沢賢治イーハトーブ館は、宮沢賢治に関する研究、創作等の資料を収集、保存、公開するために設置された。今年は宮沢賢治生誕120年で、童話村のライトアップは好評であり、ご覧いただければと思う。委員の任期は2年であり、よろしく願いたい。

3 会長選出

委員の互選により、岩田委員を会長に選出

4 議 事（概要）

岩田会長が議長になり議事を進行（宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項）

(1) 平成27年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業報告について

藤井副館長

平成27年度年報により、平成27年度の事業概要を説明した。

岩田議長（会長）

平成27年度は、大分お金をかけて施設設備を整備いただいた。

栗原館長

整備は、年次計画で進めている。

岡村委員

イーハトーブ館は、日本の建築ファンから評価されている。建築家の古市さんが設計されたものということでアピールしては。斬新なデザインであり、設計の考え方を聞いてみるのもいいかもしれない。

栗原館長

評価を利用していきたい。

岩田議長（会長）

グランドピアノをイメージしたデザインである。

栗原館長

そういうことを売りにして、市民の皆さんにも目を向けていけるようにしたい。乃村
工藝社に確認してみることや、学会の会報に、古市さんに書いていただくこともいい。

岩田議長（会長）

イーハトーブ館は、市民との関係が薄いという意見がある。市民に十分知らせて、目
を向けてもらうことが必要だ。

栗原館長

28年度の記念館との連携した企画展は、東北砕石工場とも連携していく。

岡村委員

黄瀛展は、今月中に図録をつくる。7月2日にはギャラリートークと1920年のテ
レビ番組の放映をする。戦前の有名な詩人で、中国における近代の日本文学研究者であ
る。

栗原館長

生誕100年には講演をしているし、生前の賢治に1回会っている。

瀬川委員

記念館や童話村、イーハトーブ館は隣り合っているが、山があったりで高齢者の移動
が大変ではないか。

藤井副館長

ゴールデンウィークや夏休み期間には、シャトルバスを運行している。

高橋委員

記念館の来館者は多かったが、イーハトーブ館を案内しても、南斜花壇、階段を利用
してのイーハトーブ館への誘導は難しい。イーハトーブ館のホールは利用されている。

瀬川委員

スタンプラリー、遊歩道の整備をして楽しさを生み出しては。

伊藤諒子委員

子どもは来ないので、視覚に訴えることが必要

栗原館長

イーハトーブ館は、ディープなファンが来館する。

岡村委員

賢治関係図書の売り場が充実している。

藤井副館長

保育所からはアニメーションを見に来ている。

高橋委員

賢治の関係（学習）は、まなび学園の利用が多い。記念館は来るが、イーハトーブ館
に来ない方は多い。

栗原館長

せせらぎの向こう側に遊べる所が工夫できないか。

瀬川委員

遊歩道への宝探し

岡村委員

自然学習をねらう。

瀬川委員

ぼたん園の来館者は。

藤井副館長

生活環境課が管理しているが、5月10日頃から5月一杯は、見学に訪れている。

小原委員

イーハトーブ館は、じっくり見学できるのが特徴であり、大人の雰囲気でもいい。

岡村委員

企画展のポスターの掲示は。

藤井副館長

200部作成して、市内の文化施設、公共施設、小中学校、県内等の文化施設等に配布し、掲示を依頼している。

栗原館長

市内の賢治の会に集まってもらう機会を、今年あたり開催してもいいと思っている。

伊藤諒子委員

鹿踊りをしてもらうとか、ぼっこの会の出演料はいらぬ。

岩田議長（会長）

館の役割を守りながら、たくさんの方々に来館していただくようにしていくことが必要だ。

以上の意見が出されたが、原案のとおり承認された。

(2) 平成28年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画について

藤井副館長

平成28年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画（案）と施設設備の修繕予定、ホールの利用申し込みが増えていることを説明した。

瀬川委員

記念館のリニューアルで研究者たちの施設になったようだ。

浅沼委員

岩手の石が3つ選ばれた。記念館に石の現物がない。

栗原館長

賢治と石展に浅沼さんの意見を生かし、終わったあと記念館に展示することも考えられる。リニューアルは業者に任せて始まったが、学会は間違いのないように取り組んだ。今後、そういう意見は反映させていく。

高橋委員

企画展は、生の石の展示をしてほしい。

浅沼委員

記念館の展示の年譜、新聞記事は評判がいい。

伊藤賢治委員

今年は国体が開催されるので、多くの方にイーハトーブ館に来館してもらうようにしてほしい。

高橋委員

記念館の来館者の反応は、2種類に分かれる。遺品が少ない。映像は、何が出てくるかわからない。説明の順番が難しい。一般向きでない。少しずつ直していけばいい。パネルが多すぎる。じっくり説明する人がほしい。石の標本を並べてもしょうがない。何か大きなものを展示してみたら。

栗原館長

オープンに間に合わせるのは、死ぬ思いだった。少しずつ直していけると思う。映像は、アイデアと現実のズレがあった。人の流れの読みが不十分だった。ガイドに専念すると、学芸員の本来職務ができなくなる。

瀬川委員

手引書があればいい。

栗原館長

国際研究大会の概要を説明した。

高橋委員

エクスカッションは、東和、大迫を重点的にお願いしたい。

伊藤賢治委員

石鳥谷と東和の賢治の会の交流を考えている。

小原委員

東和は今まで萬できたが、賢治との関わりも深い。

岡村委員

賢治と萬との接点が深い。

岩田議長（会長）

皆さんで盛り上げていくことが大事と考えている。

以上の意見が出されたが、原案のとおり決定された。

5 その他

協議事項等なし。

6 閉 会